



太りすぎ! タマの足は空をかく

作/小山田 満子

2004年 10月

題 食欲の秋

[小山田 満子 さん]

甘い物好きの私のせいで、太ってしまったうちのネコ。かゆい所に手が届かず、短い足で四苦八苦。そんな姿に反省の毎日です。

[西沢まもるの一言]

私のように戦後の食糧難の時に育った人間にとって、空腹はいちばんつらいです。犬や猫に、つい余計にエサを与えてしまいます。



ばーばにも 願いはあるよ 星祭り

作/林 宏子

2004年 7月

題 七夕

[林 宏子 さん]

じーじ・ばーばとなっても七夕には、短冊に願い事を書き、飾ります。おばあちゃんになっても願い事はあるものです。

[西沢まもるの一言]

私も七夕の朝露集めには苦労しましたが、短冊に願い事を書き、飾ります。おばあちゃんになっても願い事はあるものです。



只今の 声放り出す ランドセル

作/小林 富子

2004年 4月

題 ランドセル

[小林 富子 さん]

4時頃、孫の「ただいま」の声。見に行くとランドセルだけ。本人は遊びにどこかへ。私はランドセルを片付ける毎日です。

[西沢まもるの一言]

カラフルにはなっているようですが、デザインは何十年も変わりませんね。ランドセルは永遠、不滅です… ね。



孫よりの 賀状届き サイフ見る

作/本道 寛

2004年 1月

題 年賀状

[本道 寛 さん]

孫からの年賀状に「お年玉ようだいね」と書いてあった事を詠みました。初めてのまもる賞。嬉しいような、もったいない様な、光栄です。

[西沢まもるの一言]

孫にお年玉をあげられるということはひとつの「しあわせ」ですね。新年おめでとうございます。今年も何分よろしくお願いたします。



七五三 見に来た熊も 親子連れ

作/北沢 忠雄

2004年 11月

題 七五三

[北沢 忠雄 さん]

今年は熊の出没が多いので、どこかでこんな場面もあるかも知れませんね。川柳はこのコーナーがきっかけです。

[西沢まもるの一言]

まんがみたいな光景ですが、笑っている場合じゃありませんね。ほんとうに、こんな事があるかも…。



宿題を手伝うはずが 子におさり

作/林 茂

2004年 8月

題 夏休み

[林 茂 さん]

教えたつもりが「今こうなんだよ」と、逆に子や孫(小6・小4)に教わるという一コマ。勉強内容も時代と共に変化しているんですね。

[西沢まもるの一言]

林さんの「子におさり」の方言が胸にひびきました。信州のこどもの夏休みは短いけれど、しっかりと思い出に残ります。



思い出す 親父はいつも 腰弁当

作/堀田 毅

2004年 5月

題 お弁当

[堀田 毅 さん]

昔、畑仕事に行くのに腰弁当で出掛けて行った父親を思い出して詠みました。なつかしい、昔の光景です。

[西沢まもるの一言]

私も子供の頃おにぎりを風呂敷にくるんで、背負ったり腰にくくりつけたりしていました。うっかりべったんこにしてしまうことも多かったです。



何処に住む 訪ねてみたい 福の神

作/堀田 毅

2004年 2月

題 福

[堀田 毅 さん]

何処へでも行ってあやかりたい福の神。皆さんの所へも来ればいいと思い、詠みました。川柳は難しいけれど、さっそくまもる賞。元気が出ます。

[西沢まもるの一言]

私も、福の神さんに会いたいですね。「怠けることなんか考えずに、しっかり働け!」なんておこられたりして…。



窓ガラス 孫の応援たのみです

作/青木 すわ子

2004年 12月

題 大そうじ

[青木 すわ子 さん]

高い所の窓は私がとどかないのですが、孫が手伝ってくれます。来ればよくお手伝いしてくれるのがうれしい。

[西沢まもるの一言]

青木さんのところの大掃除は、なんだか楽しそうですね。どうせなら楽しく…ね。



満月をいつも心に感じていたい

作/うばざくら

2004年 9月

題 十五夜

[うばざくら さん]

中秋の名月を見ていたら、その時ばかりは不平不満を忘れていました。満月のように心を丸く持っていれば、日々穏やかにしてくれるものですね。

[西沢まもるの一言]

勝手にイメージをふくらませてイラストを描いてしまいました。大きな満月を見ると気持ちもふっくらしますね。



はなよめ きれいなすがたゆめにみて

作/宮川 優奈

2004年 6月

題 花嫁

[宮川 優奈 さん(小4)]

はなよめさんと聞いてすてきなドレスを思いうかべました。わたしも大きくなったら着てみたいです。

[西沢まもるの一言]

花嫁が楽しければ新郎も楽しい。両親も、親戚も、客もみんな楽しい結婚式。いいなア。



引越しに 貧乏神も ついて来る

作/北沢 忠雄

2004年 3月

題 引越し

[北沢 忠雄 さん]

引越したら貧乏神が居着かないように、心を新たにして、明るい未来を思い描きたいものです。

[西沢まもるの一言]

自慢にはなりませんが、わが家もカレとは一生のおつき合いです。まいいか、とやせ我慢しています。